



未来かなえネット

令和5年度は防災フェアや気仙2市1町の各産業まつりに出展し、638人の新規登録をいただきました。

※死亡者数を引く前の数字

【住民登録数】	12,439人	※5月現在
大船渡市	5,683人	
陸前高田市	3,648人	
住田町	2,295人	
一関市	518人	
平泉町	81人	
【施設数】	60施設	

マイナンバーカードでの医療情報連携が進められておりますが、医療機関などが「未来かなえネット」のような地域医療情報連携ネットワークと同様のものと勘違いし、地域医療情報連携ネットワークから撤退していることが全国的にも問題となっております。

しかし、マイナンバーカードの医療情報連携には、検査画像の連携が出来ない、必要な医療データが表示出来ない検査項目がある、などまだ医療情報連携として不十分な状態です。

さらに全国医療情報プラットフォームの本格稼働は2030年ですが、それまでの医療データは収集されず、開始当初からデータを集めなければならない状況になってしまいます。

現在、厚生労働省では地域医療情報連携ネットワークとマイナンバーカードでの連携が共存できる仕組みづくり、全国共通の電子カルテ化を始めていますので、それまで住民のために「未来かなえネット」の運用と情報収集を継続し、住民参加周知活動と施設参加の維持を心がけて運用して参ります!!

地域介護力アップ助成事業

今年度は4団体が実施しております。

○住田社会福祉協議会

「腰痛を予防していきいき元気に!」

○特非)居場所創造プロジェクト

「末崎住民・高台移転者の健康体力づくりとふれ合い創造事業」

○住みたい町の在宅ケア研究会

「気仙地域の在宅ケアに携わる専門職の研修会」

○ボランティアサークルぜんしん

「湊 おたっしや倶楽部」

各団体で実施しておりますので、ぜひ、参加してみてください。



産婦人科・小児科オンライン

(妊婦届出から満15歳まで利用可能)

登録組数は4月時点で178組となりました。

利用内容については、0~4歳児の湿疹や発熱に関する相談が最も多く寄せられました。また、利用したご家族から“相談して良かった”という声がたくさんありました。今年度も引き続き周知活動に力を入れていきます。

未来かなえ訪問看護

ステーション「すみちゃん」



今年度から携帯型超音波画像診断装置を導入し、さらなる訪問看護の充実を図ります。

町内の介護施設等の看護師にも貸出を予定しており、操作講習会等を実施し、住民サービスの向上を図って参ります。